



平成 31 年 3 月 15 日
国土交通省国土地理院
北海道地方測量部

(お知らせ)

測量・地図作成は、社会の発展と共に満 150 年を迎えました！ ～ 近代測量 150 年 道の駅 石狩『あいろーど厚田』でパネル展を開催 ～

本年（2019 年）は、明治政府に近代測量を行う機関が設置された 1869 年（明治 2 年）から満 150 年に当たります。国土地理院及び関係団体は「近代測量 150 年」と位置づけています。
この近代測量 150 年の節目に、「道の駅 石狩『あいろーど厚田』」を皮切りに道内の道の駅でパネル展を開催します。

2019 年は、明治政府に近代測量を行う機関として、国土地理院の前身である「^{みんぶかんしよつつかさこせき}民部官庶務司戸籍^{ちず かがり}地図掛」が設置された 1869 年（明治 2 年）から満 150 年に当たります。

国土の開発事業の土台と言える測量・地図作製は、国の基本的な形を築き上げた多岐にわたる近代化への国家プロジェクトの一つとも言えます。

明治から平成、そして新しい時代へ、国土を正確に把握し、管理するために実施した測量や地図作製は、第二次世界大戦以降の戦後復興、高度経済成長、防災対策等のインフラ整備の支えとなり、社会に果たす役割は非常に大きいものになっています。

今回、道の駅石狩「あいろーど厚田」で、社会の発展を支えてきた近代測量の歩みなどを紹介するパネル展を開催します。

1. 展示期間

平成 31 年 3 月 18 日（月）～ 3 月 31 日（日）

2. 展示場所

道の駅 石狩「あいろーど厚田」

<http://aikaze.co.jp/>

（北海道石狩市厚田区厚田 98-2）

※ 今後、道の駅 15 箇所（予定）においても、順次パネル展を開催する予定です。詳しくは、北海道地方測量部ホームページに掲載します。

<http://www.gsi.go.jp/hokkaido/index.html>

3. 展示するパネル（別紙）

「地図と測量 昔と今とこれから」、

「地図と空中写真で見る 道の駅周辺の今と昔」等



(問い合わせ先)

〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 2 丁目 1 番 1 札幌第 1 合同庁舎 10 階

国土交通省国土地理院 北海道地方測量部

次 長 清水 乙彦 TEL: 011-709-2311 (内) 4501

管理課長 折笠 和江 TEL: " (内) 4502

※ 18 時以降 TEL: 011-709-9299 (直通)

「近代測量150年」とは

2019年は、明治政府に近代測量を行う機関が設置された明治2年(1869年)から満150年に当たります。

国土交通省国土地理院では、「近代測量150年」の節目に、これまでの歩みと発展を明らかにするとともに、測量・地図作成の役割や重要性について理解を深めていただくため、全国の「道の駅」においてパネル展を開催しています。



地図と測量 昔と今とこれから

近代測量
150年

1869年(明治2年)以降、政府は近代化に向けて、国土を正確に把握し管理するための測量事業を始めました。2019年は近代測量が始まってから150年。これからも人々の暮らしを支えています。

1869

“高さや位置”の基準を設ける

“国づくり”に向けた明治の地図

国土の姿の把握

“戦後”を支えた昭和の地図

2019

地理空間情報を広く利用できる社会の実現

避難場所の確認

カーナビや道案内

宇宙測地技術を活用したさまざまな計画

災害対策

ドローンサービス

自動運転

Future

地図と測量の発展で
生活をより豊かにする挑戦

満150年の国土地理院

- | | | |
|-------|------|-----------------------|
| 明治 2年 | 1869 | ・民部省に庶務司戸籍地図掛を設置 |
| 4年 | 1871 | ・兵部省陸軍参謀局に開闢隊を設置 |
| 21年 | 1888 | ・測量局が参謀本部陸地測量部となる |
| 24年 | 1891 | ・東京三宅坂参謀本部内に日本水準原点を設置 |
| 25年 | 1892 | ・東京麻布に日本経緯度原点を設置 |



カール・パンベルヒ一等経緯儀



日本水準原点



日本経緯度原点

- | | | |
|-------|------|------------------|
| 大正 4年 | 1915 | ・一等三角測量が完成(明治成果) |
| 13年 | 1924 | ・全国の5万分1地形図がほぼ完了 |



陸地測量部の三宅坂庁舎(永田町)

- | | | |
|--------|------|----------------------|
| 昭和 20年 | 1945 | ・内務省の付属機関として地理調査所が発足 |
| 24年 | 1949 | ・測量法公布 |
| 35年 | 1960 | ・地理調査所を国土地理院に名称変更 |
| 56年 | 1981 | ・VLBI装置を導入 |
| 58年 | 1983 | ・2万5千分1地形図全国整備が完了 |



国土地理院 本院(茨城県つくば市)

- | | | |
|-------|------|--------------------------|
| 平成 元年 | 1989 | ・測量の日を制定 |
| 6年 | 1994 | ・全国GPS連続観測施設の運用を開始 |
| 8年 | 1996 | ・「地図と測量の科学館」オープン |
| 13年 | 2001 | ・国土交通省発足、同省の特別機関となる |
| 14年 | 2002 | ・電子基準点網の全国整備が完了 |
| 26年 | 2014 | ・2万5千分1地形図の領土全域の整備が完了 |
| 27年 | 2015 | ・石岡測地観測局の観測開始 |
| 30年 | 2018 | ・電子基準点「東京千代田」を日本水準原点機に新設 |



電子基準点「東京千代田」



石岡測地観測局(茨城県石岡市)

進化する測量技術

より高精度・短時間・安全な測量が可能に！

測地測量の技術変遷！

明治時代から地図を作るための測量は、高い山などに三角点を設置して行ってきました。昭和40年代には測量は角度を測る測量から、距離を測る測量に進化しました。現在では、GPS衛星をはじめとする人工衛星を利用して、安全かつ効率的に精度の高い測量が可能です。



基線尺比較 (明治43年:1910年)
相模野基線 (神奈川県)



三角測量 (昭和29年:1954年)
あいの野基線 (滋賀県)



多角測量 (昭和年代)
南極観測でのレーザー測距機による
距離計測



GNSS測量 (平成28年:2016年)
西之島 (東京都小笠原諸島)

詳しくはこちらをご覧ください →